

(講座) 環境薬科学

(研究室) 薬品分析化学

(氏名) 岸川直哉

(職名) 助手

【研究テーマ】

1. 環境及び生体試料中の環境汚染物質の測定法の開発と汚染評価に関する研究
2. 新規過シュウ酸エステル化学発光系の開発に関する研究
3. キノン化合物の蛍光・化学発光測定法の開発研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. K. Ohyama, M. Wada, N. Kishikawa, Y. Ohba, K. Nakashima, N. Kuroda: Stepwise gradient of buffer concentration for capillary electrochromatography of peptides on sulfonated naphthalimido-modified silyl silica gel, *J. Chromatogr. A*, **1064**, 255-259 (2005). (IF: 3.359)
2. N. Kuroda, S. Sugihara, Y. Sugihara, M. Wada, N. Kishikawa, Y. Ohba, K. Nakashima: Fluorescence labeling method for aryl halides with 4-(4,5-diphenyl-1H-imidazol-2-yl)phenylboronic acid based on Suzuki coupling reaction, *J. Chromatogr. A.*, **1066**, 119-125 (2005). (IF: 3.359)
3. K. Ohyama, E. Fujimoto, M. Wada, N. Kishikawa, Y. Ohba, S. Akiyama, K. Nakashima, N. Kuroda: Investigation of a novel mixed-mode stationary phase for capillary electrochromatography. Part III: Separation of nucleosides and nucleic acid bases on sulfonated naphthalimido-modified silyl silica gel, *J. Sep. Sci.*, **28**, 767-773 (2005). (IF: 1.927)
4. N. Kishikawa, A. Ihara, M. Shirota, M. Wada, Y. Ohba, N. Sera, K. Nakashima, N. Kuroda: Retrospective analyses of atmospheric polycyclic and nitropolycyclic aromatic hydrocarbons in an industrial area of a western site of Japan, *Anal. Sci.*, **21**, 1467-1470 (2005). (IF: 1.051)

B 邦文

(B-d) 紀要

1. 濱地千雪, 岸川直哉, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: ヒト血清中ハロペリドール及びその代謝産物の新規誘導体化によるHPLC定量, *日本臨床化学会九州支部会誌*, **15**, 24-29 (2005).
2. 一番ヶ瀬智子, 大庭義史, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: 合成基質を用いる酵素活性測定法の選択性向上の試み, *日本臨床化学会九州支部会誌*, **15**, 32-35 (2005).

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 一番ヶ瀬智子, 大庭義史, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: 合成基質を用いる酵素活性測定法の選択性向上の試み, 第15回日本臨床化学会九州支部総会, p42, 久留米

(2005).

2. 濱地千雪, 岸川直哉, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: ヒト血清中八口ペリドール及びその代謝物の新規蛍光誘導体化による HPLC 定量, 第 15 回日本臨床化学会九州支部総会, p40, 久留米 (2005).
3. 岸川直哉, 中尾麻衣子, 和田光弘, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: 大気汚染物質の測定と評価, 長崎市の大気中 9,10-Phenanthrenequinone 濃度, 第 42 回長崎県総合公衆衛生研究会, p44-45, 長崎 (2005).
4. 岸川直哉, 中尾麻衣子, 和田光弘, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: キノン化合物の蛍光誘導体化 HPLC-定量法の開発と環境汚染評価への応用, フィジカルファーマフォーラム 2005, p24-25, 静岡 (2005).
5. 黒田直敬, 末廣佳隆, 岸川直哉, 大庭義史, 中島憲一郎: 過酸化水素の添加を必要としない新規過シュウ酸エステル化学発光系の検討(4), 日本薬学会第 125 年会, 2-p52, 東京 (2005).
6. 岸川直哉, 藤井 収, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: 紫外線照射を利用したキノン化合物の HPLC-化学発光定量法の開発, 日本薬学会第 125 年会, 2-p52, 東京 (2005).
7. 岸川直哉, 中尾麻衣子, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: 4-ホルミル安息香酸メチルを蛍光試薬として用いる 9,10-phenanthrenequinone の HPLC 定量, 第 12 回クロマトグラフィーシンポジウム, p37-38, 福岡 (2005).
8. 大庭義史, 宮本 葵, 中村訓子, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: 活性酸素消去能の簡易・迅速分析を志向したシーケンシャルインジェクション-化学発光システムの開発, 第 18 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, p99-100, 静岡 (2005).
9. 岸川直哉, 中尾麻衣子, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: 蛍光誘導体化 HPLC による 1,2-naphthoquinone 及び 9,10-phenanthrenequinone の同時定量, 日本分析化学会第 54 年会, p289, 名古屋 (2005).
10. 一番ヶ瀬智子, 大庭義史, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: ルミノール誘導体 L-012 を用いる西洋わさびペルオキシダーゼ及び H2O2 の高感度定量のための基礎検討, 日本分析化学会第 54 年会, p302, 名古屋 (2005).
11. 山口伸也, 岸川直哉, 大庭義史, 河野麻衣子, 増田寿伸, 高館 明, 中島憲一郎, 黒田直敬: 活性酸素種に選択的に応答を示す化学発光プローブの探索, 日本分析化学会第 54 年会, p203, 名古屋 (2005).
12. 宮本 葵, 中村訓子, 大庭義史, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: スーパーオキシドアニオン及び一酸化窒素消去能測定のためのシーケンシャルインジェクション分析法の開発, 生物発光化学発光研究会 23 回学術講演会, p45, 岡山 (2005).
13. 一番ヶ瀬智子, 浜辺千絵, 大庭義史, 岸川直哉, 中島憲一郎, 栢森祐三, 康 東天, 濱崎直孝, 黒田直敬: イムノキャプチャー法とプロエンハンサー化学発光基質を用いる血清中リパーゼ活性測定法の検討, 第 45 回日本臨床化学会年会, 福岡 (2005).
14. 井上瑞妃, 岸川直哉, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: Suzuki coupling 反応を用いたヒト血清中 ticlopidine の HPLC-蛍光定量法の開発, 第 22 回日本薬学会九州支部大会, p155, 福岡 (2005).
15. 才木 茜, 岸川直哉, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: 4-[4-(4-Dimethylaminophenyl)]

5-henyl-1*H*-imidazol-2-yl]-benzoic acid methylester を蛍光プローブとして用いる
ヒト血清アルブミンの定量，第 22 回日本薬学会九州支部大会，p156，福岡（2005）.

【研究費取得状況】

1. ヒト健康影響評価を目的とするキノン化合物の HPLC-蛍光・化学発光定量法の開発；
平成 17 年度科学研究費補助金・若手研究(B)；代表.
2. 長崎県先端技術開発協議会研究助成費、生体試料の活性酸素消去能を指標とする酸化
ストレス計測装置の開発；平成 17 年度 長崎県先端技術開発協議会研究助成費；代
表.

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	16 編	（邦文）	1 編
総説	（欧文） 0 編	（邦文）	0 編
著書	（欧文） 0 編	（邦文）	2 編
紀要	（欧文） 2 編	（邦文）	6 編
特許	0 件		